

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年11月21日(2019.11.21)

【公開番号】特開2018-61568(P2018-61568A)

【公開日】平成30年4月19日(2018.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2018-015

【出願番号】特願2016-200071(P2016-200071)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和1年10月10日(2019.10.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

移動可能に支持された第1可動部と、前記第1可動部に支持された第2可動部とを駆動源からの動力によって駆動して遊技の演出を行う遊技機において、

前記第1又は第2の何れか一方の前記可動部をロックするロック手段を備え、

前記一方の可動部がロックされている状態から動き出すときの前記一方の可動部の移動する方向が、他方の前記可動部の移動に伴って前記一方の可動部が受ける力の方向と直交している遊技機。

【請求項2】

前記一方の可動部は回動可能に支持されている請求項1に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成するためになされた請求項1の発明は、移動可能に支持された第1可動部と、前記第1可動部に支持された第2可動部とを駆動源からの動力によって駆動して遊技の演出を行う遊技機において、前記第1又は第2の何れか一方の前記可動部をロックするロック手段を備え、前記一方の可動部がロックされている状態から動き出すときの前記一方の可動部の移動する方向が、他方の前記可動部の移動に伴って前記一方の可動部が受ける力の方向と直交している遊技機である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記発明によれば、一方の可動部がロックされている状態から動き出すときの一方の可動部の移動する方向が、他方の可動部の移動に伴って一方の可動部が受ける力の方向と直

交しているので、他方の可動部の移動を開始するときには、一方の可動部の停止状態が安定すると共に、他方の可動部の動きも安定する。